令和元年１１月２２日

門川町議会議長　様

（１０番）　門川町議会議員　水永　正継　印

一般質問通告について

令和元年門川町議会第４回定例会において、下記のとおり質問いたしたいので会議規則第６１条第２項の規定により通告いたします。

受付	11月 22日 午 前 後 4時09分	No. 5

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
１．南海トラフ大地震・大津波の防災・減災対策について	近い将来南海トラフ大地震・大津波が予想されるなか、庁舎移転は完成に向けて進行中であるが、大地震・大津波発生時の住民の不安は、多岐に渡り、解消されていないことが多い。大地震・大津波発生時の問題点について、町として今後どのように取り組んでいくのか、以下のことについて伺いたい。 ・実際に大地震・大津波が発生した時、現在の段階で町はどのように動くのか。 ・「町民の防災意識が高くなければ減災につながらない。」ということから、町民の防災意識の高揚が肝要と考えるが、大地震発生時及び津波到達までの基本的な避難行動の周知徹底は。 ・防災・減災に関する担当職員の増員の検討は。 ・避難道や避難場所の整備は地区防災に任せていることが多いが、自然の地形を利用した町としての本格的な避難道や避難場所の検討及び整備は。 ・地震発生時、町内のどこにいても、避難場所がわかるように町民などに対する避難誘導標識の設置は。現在はまだ少ないと思われる。 ・避難行動が困難な町民に対する対策は。 ・高齢者や障がい者など避難困難者に対するライフジャケットの配布は必要と思われるが、計画は。 ・学校における避難行動計画の有無と内容は。また保育所等は。 ・各個人が携帯する飲食物等の周知徹底は。 ・大地震・大津波対策を根底に置いた将来のまちづくりの構想は。	町長 教育長